

<対象製品品番はカタログなどでご確認ください>

施工店様へ

- この説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 施工完了後この説明書を取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意 けがや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください

警告



施工・点検時には必ず主電源を切る
～電源が入ったままの施工は感電の原因になります～

注意

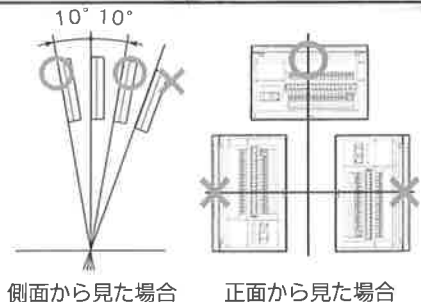


- 端子ねじは適正締付トルクで確実に締め付ける
～端子ねじのゆるみは発熱・発火の原因になります～
- 電源側プラグイン端子はバーへ確実に差し込む
～差し込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります～
- 負荷側速結端子に接続する場合、オレンジ色の接続完了表示が出るまで、電線を奥まで確実に差し込む
～差し込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります～
- 負荷側速結端子への接続電線は、変形・腐食のないものを使用する
～守らないと、発熱・発火の原因になります～
- 主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続する
～相を間違えると異常電圧が発生し、発熱・発火の原因になります～
- 主幹ブレーカの過電圧検出リード線は、中性バーから取り外さない
～取り外すと中性線欠相検出による過電圧保護ができません～



設置に関するご注意

- 住宅分電盤は、容易に操作・点検のできる場所に取り付けてください。戸棚・便所・浴室などの内部には取り付けしないでください。
- 高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動・衝撃など、異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないます。
- 屋内で使用してください。屋外や水のかかる場所には使用できません。
- 住宅分電盤を取り付ける壁面は、平らな面を選んでください。凸凹のある場所へ無理に取り付けしないでください。
- 住宅分電盤は、右図に示す範囲内で使用してください。(図は横形の場合を示す)
- 住宅分電盤の前面には、障害になるようなものを置かないでください。



主幹・分岐ブレーカ適合電線サイズ

ブレーカの定格電流	電線サイズ	
分岐	15A	φ1.6 φ2.0
	20A	φ1.6 φ2.0
	30A	φ2.6
主幹	30A	φ2.6 5.5~8.0mm ²
	40A	8.0~14.0mm ²
	50A・60A	14.0~22.0mm ²
	75A	22.0~38.0mm ²
	100A	38.0mm ²

施工に関するご注意

- この住宅分電盤は、単相3線式(1φ3W) 100/200V専用です。
- 盤定格電流を超える主幹ブレーカは取り付けしないでください。
- 導電部の接続ねじは、適正締付トルクで増締めを行ってください。
- 電線サイズは最大負荷電流に適合したものを使用してください。
- 主幹ブレーカ・分岐ブレーカに接続する電線サイズは右表より選んでください。
- 圧着端子・圧着工具はJISマーク品を使用してください。電線に適合した圧着端子を使用してください。
- 主幹ブレーカ2次側端子および接続部からの分岐配線は行わないでください。
- 主幹ブレーカの過電圧検出リード線は、中性バーから取り外さないでください。取り外すと中性線欠相検出による過電圧保護ができません。

使用上のご注意

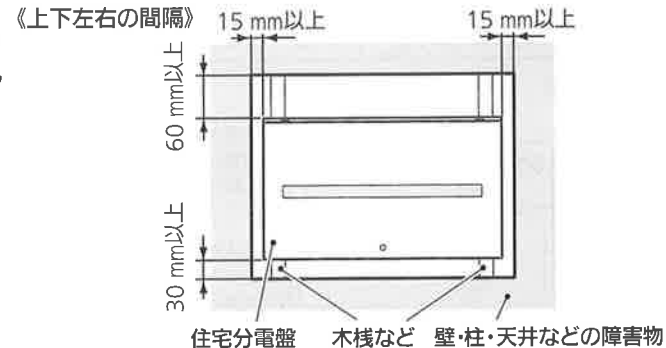
- 線間電圧による感電は、漏電ブレーカで保護できません。
- 線間の絶縁抵抗測定は漏電ブレーカが故障します。
- 絶縁抵抗測定は下記の点に注意してください。
①主幹、分岐ブレーカはOFFにしてください。
②測定は充電部ー大地間のみとしてください。

お願い

- 工事が終わったら、商品に同梱してある取扱説明書に、施工電気工事業者名(指定がある場合は連絡先)をご記入の後、お客様に取扱方法を説明し、取扱説明書とこの説明書をお渡しください。

住宅分電盤取り付け上のご注意

- 本体の取り付けは、天井面から約60mm(スッキリパネルは約15mm)以上、両側面から15mm以上、下側面から30mm以上の間隔を空けてください。(右図参照)
- ベースをネジで取り付ける際、取付穴以外でのネジ止めは避けてください。ベース変形の原因になります。



露出形 ……スッキリパネル ヨコ一列タイプ

【露出取付け】

- 裏面配線時はベースの配線孔に合わせて壁に穴を開けてください。

露出・半埋込形 ……コスモパネル スッキリパネル (露出・半埋込両用形)

【露出取付け】

- 裏面配線時はボックスの配線孔に合わせて壁に穴を開けてください。
注) 気密性の高い住宅では壁内の気流により分電盤の通気孔からほこりが排出する場合がありますので「露出化粧枠」(下記参照)のご使用をお奨めします。

【半埋込取付け】

- 壁に半埋込用の穴を開けてください。(右図参照)
注) ベースの底面に合わせて穴を開けないでください。ベースの底面寸法と半埋込穴寸法は異なります。

- 上側面よりケーブルを引込む際、主幹用ケーブルが太い場合は引込みを容易にするため、右図のように外装ケーブル被覆をむいて電線にして入線してください。

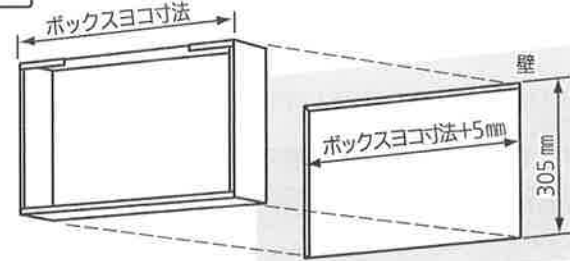


【化粧枠(別売)】

- 露出取付け時のベース外形の段差(半埋込しろ)を補正したい場合、別売の「露出化粧枠」をご使用ください。また半埋込時、穴開け寸法より大きな穴を開けた場合の壁面処理用(ただし、化粧枠外形寸法までに限る)に「半埋込化粧枠」をご使用ください。(品番はカタログなどでご確認ください)

埋込形 ……コスモパネル(埋込形)

《壁面加工寸法》

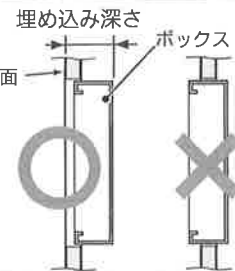


《埋め込み深さ》
リミッターベース付 68~88mm
リミッターベースなし 50~70mm(ボックス深さ50mmタイプ)
55~75mm(ボックス深さ55mmタイプ)

●接地に関するご注意

埋込形の場合、速結アース端子とボックスは電氣的に接続されていません。

注) ボックスは、壁面と同一または壁面より深く埋め込んでください。
(ボックスが壁面より出ますと、カバーと壁面との間にスキマができます)



注) ボックスが壁面より深く埋め込まれた場合には、『埋め込み調整ねじ』を壁面と同じ高さになるまでネジ戻し、内器の支えにしてください。
(ボックスが壁面と同一面の場合は、『埋め込み調整ねじ』は不要です。取り外してください)

